

令和 7 年度 ビーライトしんわ／しんわブライツ事業計画

I. 基本方針

- ・ご本人とご家族を始めとする周囲の方々が心地よく安心して自分らしい生活を送ることができるよう、さまざまなサービス・支援の提供に努めます。
- ・発達障がい（自閉スペクトラム症、A D H D、L D など）を含めた、ご本人一人ひとりの支援ニーズに適切に対応すると共に、家庭、学校、福祉、医療といった関連諸機関との連携にも努め、よりよい支援のあり方を探求、模索します。

【事業体系】

対 象 児	学校教育法第 1 条に規定している学校に就学しており、授業の終了後又は休業日に支援が必要と認められた障がい児。		
事 業 名	ビーライトしんわ		しんわブライト
	放課後等デイサービス事業		放課後等デイサービス事業
定 員	単位 1	単位 2	10 名(小学生)
	10 名(中・高生)	10 名(小・中・高生)	
配置基準	常勤換算 2 名	常勤換算 2 名	常勤換算 2 名
	児童発達支援管理責任者 1 名	児童発達支援管理責任者 1 名	管理者 兼 児童発達支援管理責任者 1 名
	管理者 1 名（単位 1 児童発達支援管理責任者兼任）		
指定開始日	平成 25 年 4 月 1 日		平成 28 年 4 月 1 日

II. 基本計画

1) 放課後等デイサービス事業

【グループ活動による総合的な発達支援：ビーライトしんわ単位 1,しんわブライツ】

- ・ご本人たち同士がお互いにかかわり合うグループならではの活動を通じて、発達のバランスを整えるきっかけづくりに取り組みます。

・学校を始めとする集団社会場面での過ごし方やふるまい方を身につけていくことにむずかしさをかかえるご

本人たちが、個人の感覚と運動をしっかりと確かめることから、ペアやチーム、グループでコミュニケーションをとりながら協力する課題へと無理なくステップアップしていけるようサポートします。

・「楽しい」、「面白い」、「うれしい」といった心地よい感情を引き出し、さまざまな活動に積極的、主体的に向き合う意欲と他者とかかわる動機を高めます。ご本人たち自身が活動課題の目的と目標を見つけて取り組む中で達成、成功、時に失敗する経験の共有を実感できるようサポートします。さまざまな状況に仲間といっしょに向き合い、楽しみ、受けとめ、受けいれ、次に活かす意欲と力を育む活動課題の創出と提供に努めます。

[※地域連携・貢献]

平塚市教育委員会からの委嘱を受け、子ども教育相談センターとの連携の下、市内の小中学校の巡回相談を行います。通常級に在籍する発達障がい児を始めとする集団適応にむずかしさを抱えるお子さんの特性を検証し、グループ活動支援を通じて集積した知識、情報、対応支援技術を総動員して、学習環境の整備と効果的な対応支援の構築に協力します。

【放課後支援＋余暇支援：ピーライトしんわ単位２】

・保護者の就労支援とご本人を日常的にケアしているご家族の一時的な休息を目的とした放課後支援及び夏休みなどの長期休暇中の余暇支援に取り組みます。

・ご本人一人ひとりの特性に応じた創作活動、各種運動（粗大、微細、協調）やゲーム的な要素を盛り込んだ活動日課、近隣の公園で体を動かす外遊びや散歩などさまざまな活動を提供し、心地よく安心して楽しんで過ごしてもらえるよう努めます。

・ご家族との情報共有とさまざまな活動の提供を通じてご本人の特性理解に努め、日常生活や集団場面で必要となる動作やコミュニケーションの習得をサポートします。

2) 地域の支援ニーズに応じた事業運営形態の再編

2012 年には 9 カ所であった市内の放課後等デイサービス事業所は年々増加し続け現在は 38 カ所までになっており、地域の事業環境は大きく変化しました。特に「発達障害児支援」を掲げる事業所は急激に

増えており、利用の分散だけではなく、共働き世帯の複数日・長時間利用ニーズの増加によって、しんわブライトとビーライト単位1の新規利用者数は年々鈍化し登録児童数は減少し続けています。この変化の中で差別化をはかり競争力を高めて地域社会に貢献する持続可能な事業として成り立つよう再編を検討します。

【検討内容】

- ①発達障がい児支援部門の統廃合による稼働率の上昇
 - ・各年齢層ごとの利用実績と利用傾向に応じた活動グループの再構成。
 - ・児童発達支援事業の併設による受入年齢層の拡張。長期継続利用の促進。
- ②報酬単価の増額
 - ・利用児童個々人の各種課題に応じた個別支援の提供を付加して利用時間の拡張することによる時間区分単価の引き上げ。
 - ・各種加算取得の費用対効果の検証（支援力強化によるニーズ対応/差別化、収支の総合判断）
- ③グループ活動支援の実践と教育との連携を通じて培った専門性の収益化
 - ・放デイ事業の関連加算取得と保育所等訪問支援事業新規開設との比較検証
 - ・ペアレントトレーニング（養育者教育訓練）、サポータートレーニング（支援者教育訓練）、保護者や支援者が高い関心を寄せる内容でのワークショップの開催などに対応する報酬や加算の研究。

以上